授業のタイトル(科目名) ソーシャルワークの理論と方法(専門)	授業の種類 印刷教材 面接授業(オンデマンド)
時間数 印刷教材時間数:162時間(課題提出回数:2回) 面接授業(オンデマンド授業視聴)時間数:6時間	必修科目
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。 ② 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。 ③ 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 ④ 精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 ⑤ 個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をマイクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。 ⑥ 精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの構成要素・展開過程・基本的視点について学ぶ。 ② 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程(面接技術、意義、目的、場面の構造、アウトリーチ)について学ぶ。 ③ 精神障害者家族の課題、家族理解の変遷、家族支援の方法について学ぶ。 ④ 多職種連携・多機関連携の意義と目的、チーム形態と特徴、連携における精神保健福祉士の役割を学ぶ。 ⑤ ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義、組織と精神保健福祉士の関係性、組織運営管理の実際について学ぶ。 ⑥ コミュニティワークの意義と地域における精神保健福祉の向上について学ぶ。 ⑦ 個別支援から地域における体制整備、政策提言・政策展開、精神障害者の地域移行・定着に関わる展開について学ぶ。 ⑧ 学校・教育分野・産業分野・司法分野といった関連分野における精神保健福祉士の実践展開を学ぶ。 	
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新 精神保健福祉士養成講座6 「ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規出版</p>	<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>次の各項目の総合評価による ・所定回数の課題提出およびその評価 ・面接授業(オンデマンド授業)の全時間視聴 ・面接授業(オンデマンド授業)の確認テスト結果</p>